

第3回鹿野地域振興未来会議 議事概要

日 時：令和8年10月14日（水） 午後1時30分～午後3時10分

場 所：鹿野町総合支所 2階 会議室

【出席委員】 三谷裕之、筒井洋平、森村繁一、長谷川誠一、兼平 恵、砂川重雄、
上山秀雄、佐々木千代子、池添かがり、山名 修、田中奏子、津田夏海
以上12名（敬称略）

【欠席委員】 なし

【説明者】 鳥取市市民生活部 地域振興課 坂本総括主査

【事務局】 <鹿野町総合支所>
小林支所長、西垣副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局鹿野町分室
長）、國森産業建設課長、岡田市民福祉課長、宮本地域振興課課長補佐

【傍聴者】 なし

【日 程】

1 開会

2 委嘱状 交付

3 会長あいさつ

4 議題

（1）鹿野まちづくり計画に関するアンケート結果について

（2）地域振興未来会議委員の改選について

5 報告事項

（1）総合支所エリアにおけるサービスのあり方の見直しについて

（2）行事経過報告及び今後の予定について

6 その他

7 閉 会

◎議事概要

3 議題（１）鹿野まちづくり計画に関するアンケート結果について

<森村委員より資料１に基づき説明>

【委員】 このアンケートは鹿野地区限定で勝谷・小鷲河地区の住民は対象外か。

【委員】 鹿野まちづくり計画は、元々、鹿野町全体の大きな構想を基に作り上げた計画であったので、まち普請の会に加盟している勝谷・小鷲河地区の団体の方にもアンケートに回答してもらっている。

【委員】 まち普請の会に加盟している勝谷・小鷲河地区の団体の方にはいいと思うが、まち普請の会が勝谷・小鷲河地区全住民を対象にアンケートするのは違うと思う。

【委員】 ということは勝谷・小鷲河地区のほとんどの住民がアンケートを知らないのか。

【委員】 鹿野地区以外の住民に細かい内容まで知らせていない。

【委員】 土曜夜市のイベント会場にこのアンケート結果が掲示してあった。

【委員】 細かな内容まで掲載してなかったが、鹿野地区内にはアンケート結果の概要を配布してある。

【委員】 １ページから３ページは、鹿野地区だけでなく勝谷・小鷲河地区にも関係のある内容になっている。

【委員】 好きなイベントに「週末だけのまちのみせ」が入っているのがうれしい。鹿野から転出した人が町外の人を連れてイベントに来てくれる。例え売れ行きが悪くても、このイベントに出店できることを喜んでくれている出店者もいる。子どもたちだけのお店もあったが、仕入れの値段交渉から販売まで自分たちでやったことは、いい経験になると思う。

【委員】 今年１５回目を迎えた「週末だけのまちのみせ」に自分も出店させていただいた。兵庫県の方を含めた３店舗が一軒の古民家の中で出店したが、兵庫県の方は儲からなくても毎年鹿野で出店できることを楽しみにされていた。お店のお手伝いの方もこのイベントが大好きで、毎年頼んで一緒に来ていると喜んでいました。２日間出店できることが条件なので鹿野で宿泊や飲食する方もあり、出店者も鹿野にお金を落としていただいていることが分かった。当日の天気は悪かったが、大変賑わっていた。県内各地で同じようなマルシェやイベントが開催

されているが、「週末だけのまちのみせ」は鹿野の街なみや空き家を活かしているという個性があり、継続的にお客さんや出店者が来る、愛されているイベントだと思う。「鹿野ふるさとミュージカル」も 17.1%が好きなイベントに選んでいただけてよかった。そのほかアンケート結果で気になったことは、自分も含めて「時間がなく、疲れている」ことを理由に参加できていない人が多いが、一方では参画したいと思っている人が 50%もいる。そういった人たちがどうすればまちづくりに関わってもらえるのだろうか。土曜夜市イベントのアンケートに参画しやすい時間帯などの設問があった。その結果を参考にイベントに参画しやすい仕組みを考えれば、もっと協力してくれる人が増えるかもしれない。

【委員】アンケートで多かった「時間がなく、疲れている」「役員負担やノルマが怖い」は、PTAでも同じことが言える。最近、段々と参加人数が減ってきているので、なるべく疲れない作業にしていこうと思う。

【委員】若い人のなかには、まちづくりに興味がある人がいても出にくい人が多い。特に子どもがいると参加が難しいので、子どもと一緒に参加できるようになればいいと思う。

【委員】鹿野地区公民館、まち普請の会、鹿の助スポーツクラブなどの関係を見直して地域を盛り上げ持続できればいいと思う。鹿野地区のことだが、他地区でも同じような現状と課題がある。ほとんどの参加者は65歳以上というような状況の中で、鹿野地区の組織改編でどういった新たな組織づくりをするのか。このことは鹿野町全体に波及することになる。若いメンバーの鹿の助スポーツクラブが、まち普請の会や行政と連携しながら一緒になってやるということで、それこそがまちづくりではないかと感じている。このアンケートをどうしていくかというのは難しいことだが、自分たちがどう関われるのか考えていきたいので、今後も進捗状況を教えてほしい。

3 議題（2）地域振興未来会議委員の改選について

＜事務局より資料2に基づき説明＞

次期の地域振興未来会議委員の選出区分 → 今期の選出区分と変更なし

4 報告事項（１）総合支所エリアにおけるサービスのあり方の見直しについて

<説明者より資料３に基づき説明>

【委員】この見直しは県内全域でなく鳥取市単独なのか。

【説明者】鳥取市単独の見直しです。

【委員】DXに伴いシステム開発が必要になれば、これからデータを集めて仕様をつくり、システム開発することになると思う。実施は９年度でなく１０年度になるのか。

【説明者】システムは１０年度からの実装となります。本庁舎ではこの見直し作業に日々取り組んでいますが、同じように総合支所でも出来るものから五月雨式に実施することになります。また、システム開発については、既に他の自治体が使用している様々なシステムがありますので、新たに鳥取市独自で開発することは考えていません。

【委員】前年度に当初予算要求することになると思うが、スムーズに予算を確保することができるのか。

【説明者】できます。本当に必要なものは補正予算や臨時議会を開催してでも実現したいと考えています。

【委員】ワクワクするような話で非常に楽しみだ。やり方の変更や組織改革をする時には、組織の内外から必ず反対する人が出てくる。強いリーダーシップと意思を持って頑張っていただきたい。

【説明者】昨日の会議において、これまで支所のあり方の見直しが必ずしも十分に進められなかったというような発言を市長自らされました。そのことを各部局長が聞いていましたので、この度は確実に見直しが進んでいくと考えています。

【委員】人口減少が進むなか、見直しを進めていくことは必要だと思う。ただし、市の周辺部において支所が果たす役割は大きい。周辺部のサービス低下にならないよう考慮してほしい。これまで、行政サービスの効率化という名のもとに、県の八頭総合事務所が廃止された。地域に根差した組織でも廃止されてしまう。これからも行政サービスを維持していくということだが、役場の時代と比較すると支所の職員がかなり減っており、今後さらに減らされるのではないかと懸念している。前回の未来会議で子ども家庭局から乳幼児健診の集約化について

説明があり、来年度から乳幼児健診は中央保健センターのみで新市域の保健センターでは行わないということだった。自家用車のない方が周辺部から中央保健センターまで行くのは不便だという意見があった。今後、効率化の名のもとに周辺部の機能が低下していき、最後には何も機能がなくなるのではないかと恐れている。各部会で中間方針案を取りまとめ、あと半年ほどの来年7月に説明するとロードマップにあるが、それまでにこの未来会議で協議するというようなことはしないのか。本庁組織だけで中間方針案を取りまとめ、決まった内容を総合支所だよりで周知して終わってしまうのではないかと危惧している。

【説明者】はじめに説明したとおり、この度の見直しでは業務の効率化を目的としていません。業務の効率化で生まれた予算や人員は再配分すると説明しておりますので、ご理解いただきたいと思います。また、これまで部会において、100名近くいる構成員にアンケートを行い、ほぼ100%の回答率で様々な提案をいただいています。その提案をたたき台に、今年度一つ一つ時間をかけて片づけていく作業を行いますので、その一つ一つの作業を未来会議で説明し、意見を求めることは考えていません。従って、今年度末に3部会で提案される内容については、来年度の4月から実装チームがもう一度横断的に調整を図り、中間方針案をまとめます。実装されるのは早いもので10年度の4月からですし、引き続き見直しを行うつもりですので、危惧されることには当たらないと考えます。

【委員】部会などには支所の担当課長が出席し、地域の実情を伝えていると思うが、来年7月の時点で中間方針案というほぼ固まったものが出たときに、未来会議で提示されても意見が通るものなのかどうか。住民の意見が反映されないのではないかと心配している。

【説明者】中間方針案については7月頃に未来会議でも説明する予定ですが、事前に読み込んでいただいたうえでご意見いただけるよう、早い時点で委員の皆様にお届けしたいと思います。

【委員】これまで支所に焦点を当てたサービスの見直しはなかったと思うので、いい機会になる。10年度からスタートと言いながら、もし不具合があれば、その都度見直しをすればいい。まずは見直しに取り組むことが重要だと思う。

【委員】本庁ではこの10年間でいろいろなことを改革してきたが、支所ではできてい

なかった。この度の支所にスポットを当てた改革では、例えば広域でサービスをカバーするなど、具体的なイメージを示しながら説明していただければ分かりやすい。

【説明者】毎年、こんな改革をしてほしいと支所から意見をあげていましたが、本庁とのパワーバランスで意見が跳ね返されていたというような状況がありました。そのようなこともあって透明化されたなかで検討していこうということで、全庁的な組織を立ち上げたところです。誤解のないように申し上げますが、支所エリアで組織が見直されていないのは、決して支所のせいではないということをつけ加えておきます。

【委員】以前から、支所から本庁に意見を上げていることは聞いていたが、これまでの経過がよく分かった。

4 報告事項（2）行事経過報告及び今後の予定について

<事務局より資料4に基づき説明>

【委員】来年の「鹿野ふるさとミュージカル」は市民会館が使えないので梨花ホールで、令和9年9月26日に開催する予定。

【委員】「鷲峯山麓ハーフマラソン」の申し込みは締め切りまでに定員一杯になり、早めに締め切った。今大会では、地元の武部仁さんにテーマソングを作ってもらったので聞いてほしい。

【委員】今年度は未来会議の視察はないのか。

【事務局】未来会議に視察の予算はありませんが、昨年度のような町内視察はできます。

【委員】先日、鹿野学園流沙川学舎の5年生で稲刈り体験を行った。JAが農家に対して支払う概算金が去年の単価35,000円から16,000円になったので、今後、採算が合わないため農業法人が撤退していく可能性がある。特に中山間地域では有害鳥獣が増えており、農業をすることが困難になっている。全国で同じ状況だと思うが、農業者だけでなく住民みんなで持続可能な農業を考えてほしい。

【委員】11月の21日から23日まで、クチュールシカノをメイン会場に「鹿野芸術祭」が開催される。これまで芸術祭に関わってきた県外在住の方が、気高町に移住された。